

インバウンドの「変化の兆し」をいち早く 都道府県別訪日外客数と訪問率

月次指標の早期推計：2月レポート

稲田義久 (APIR 研究統括兼数量経済分析センター長)
松林洋一 (APIR 上席研究員)
野村亮輔 (研究推進部)
古山健大 (調査役)
内容に関するお問い合わせは下記まで
e-mail: nomura-r@api.or.jp

ポイント

● 3月発表データのレビュー：JNTO 訪日外客数

▶ JNTO 訪日外客統計によれば(図 1 及び表 2)、**2月の訪日外客総数(推計値)は16,700人**と、前月(17,800人)から幾分減少した(2019年同月比-99.4%)。外国人の新規入国停止措置が2月末まで延長された影響もあり、低水準が続いている。

▶ 訪日外客数のトップ5を国・地域別にみると、ベトナムが2,600人で最も多かった。次いで中国が2,400人、インドが1,700人、フィリピンが1,000人、韓国が900人であった。

▶ **目的別訪日外客総数(暫定値)をみれば、12月は12,084人**となった(2019年同月比-99.5%)(図 2 及び表 3)。うち、観光客は701人(同-100.0%)、商用客は1,063人(同-99.1%)、その他客は10,320人(同-90.6%)であった。11月30日以降、オミクロン株拡大防止の水際対策強化により外国人の新規入国が停止されたため、いずれの категория も前月から減少した(前月：観光：1,709人、商用：1,992人、その他：16,981人)。

▶ 2021年通年の目的別訪日外客総数(暫定値)は、245,862人、前年比-94.0%と2年連続の大幅減少(19年比-99.2%)。うち、観光客は66,387人(19年比-99.8%)、商用客は18,344人(同-99.0%)、その他客は161,131人(同-91.4%)。7-8月期は東京オリンピック・パラリンピック開催で、総数は76,971人と大幅に増加。うち観光客は55,925人と全体の72.7%を占めた。閉幕後(9-12月)の総数は月平均18,150人と再び低水準で推移。

▶ 3月に入り**世界で水際対策緩和の動きが加速**している。ベトナムでは、15日からワクチン接種完了証明書の提示などを条件に、約2年ぶりに外国人観光客の受け入れを再開した。また、英国では、18日からワクチン未接種者に対する入国前後の検査を不要とし、水際対策を撤廃した。今後、ウクライナ情勢緊迫化による影響に注視は必要だが、緩和策で観光需要の回復が見込まれよう。なお、上記2カ国のワクチンの追加接種状況をみれば(図3)、英国が56.7%、ベトナムが45.5%となっている。

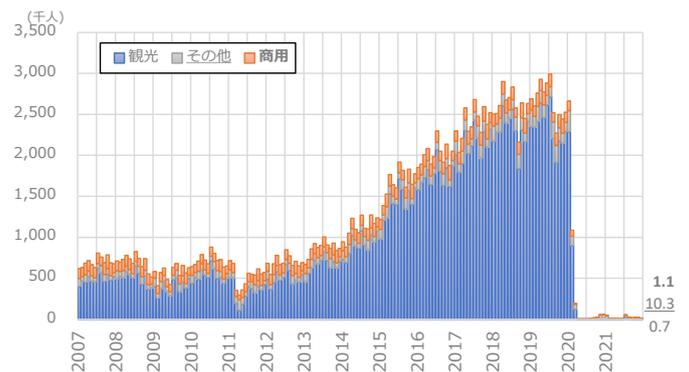
▶ **日本もこれまでの厳格な水際対策を3月から一部緩和した。1日から外国人の新規入国を再開、14日には1日当たりの入国者数の上限を5,000人から7,000人へ引き上げた。**日本へ入国できていない留学生などが40万人程度いることから、入国者数の上限を1万人へ拡大する等、更なる入国緩和が検討されている。しかし、観光目的での入国緩和時期は依然不透明なため、訪日外客の回復はしばらく時間を要するだろう。

図1 訪日外客数推移



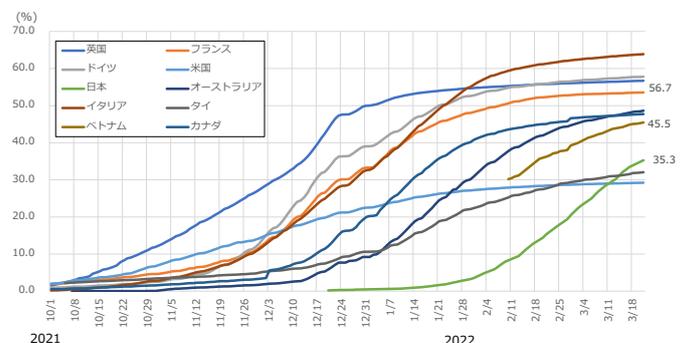
出所: 日本政府観光局(JNTO)「訪日外客数」より筆者作成
注) 2020年まで確定値、21年は暫定値、22年1-2月は推計値

図2 目的別訪日外客数推移



出所: 日本政府観光局(JNTO)「訪日外客数」より筆者作成
注) 「観光客」とは、短期滞在の入国者から「商用客」を引いた入国外国人で、親族友人訪問を含んでいる。「その他客」とは、観光、商用目的を除く入国外国人で、留学、研修、外交・公用などが含まれる。

図3 ワクチンの追加接種状況



出所: Our World In Data より作成(3月21日時点)

*本レポートで使用している観光庁「訪日外国人消費動向調査」の統計調査が現在行われていないため、2020年11月公表分レポートより内容を一部変更していることにご留意ください。

トピックス 1

● 2月関西の財貨・サービス貿易及び1月のサービス産業動向

▶ 関西 2月の輸出は前年同月比+20.3%と12カ月連続で増加した(前月:同+9.7%)(図4)。半導体等電子部品や半導体製造装置が好調だったこともあり、輸出額は2月単月で過去最高更新。一方、輸入額は国際的な燃料価格の高騰などもあり、同+30.7%と13カ月連続で増加し、2月としては過去最高となった(前月:同+35.7%)。結果、関西の貿易収支は1,776億円と2カ月ぶりに黒字に転じたが、伸びは同-26.0%縮小した。

▶ 対中貿易動向をみると(図5)、関西2月の対中輸出は前年同月比+26.8%と21カ月連続で増加し、前月(同+2.0%)から加速。うち輸出増に寄与したのは半導体等電子部品や半導体等製造装置等であった。一方、対中輸入は同+2.5%と9カ月連続で増加したが、春節前倒しの影響もあり前月(同+31.0%)から減速した。うち、輸入増に寄与したのは無機化合物や医薬品等であった。

▶ 2月の関西国際空港(以下、関空)への訪日外客数は3,499人と前月(3,496人)とほぼ同水準となった(2019年同月比-99.5%)。前述したように外国人の新規入国停止が2月末まで継続した影響もあり、低水準が続く。日本人出国者数は4,736人と前月(6,656人)から減少した。伸びは同-98.5%と、前月(同-97.7%)からマイナス幅は幾分拡大した。

▶ 1月のサービス業はCOVID-19感染再拡大を受け、活動指数は悪化した。サービス業の生産活動を示す第3次産業活動指数(季節調整済み:2015年平均=100)をみれば(図7)、1月は97.9で前月比-0.7%低下し、5カ月ぶりのマイナスとなった(前月:同+0.1%)。対面型サービス業指数*は85.9で同-3.3%低下し、5カ月ぶりのマイナス(前月:同+1.8%)。1月9日から沖縄県など3県を皮切りに、1月中に34都道府県がまん延防止等重点措置の対象となったこともあり、飲食店、飲食サービス業は同-7.5%と2カ月連続のマイナスで、前月(同-1.0%)からマイナス幅が拡大した。

▶ 観光関連指数**(2015年平均=100)は、74.9と前月比-8.8%低下し、5カ月ぶりのマイナス(図7)。オミクロン株拡大を受け、各都道府県独自の旅行需要喚起策停止の影響もあり、宿泊業が同-17.5%と4カ月ぶりに、旅行業が同-38.8%と5カ月ぶりにいずれも大幅悪化した(前月:宿泊業:同+12.3%、旅行業:同+27.1%)。

*対面型サービス業は、運輸業、宿泊業、飲食店、飲食サービス業、その他の生活関連サービス業及び娯楽業を指す。

**観光関連指数は第3次産業活動指数のうち、観光庁「旅行・観光サテライト勘定」の分類に対応する、鉄道旅客運送業、道路旅客運送業、水運旅客運送業、航空旅客運送業、旅客運送業、その他のレンタル、自動車賃貸業、宿泊業、飲食店、飲食サービス業、旅行業、映画館、劇場・興行団の各指数の加重平均。

図4 関西 対世界貿易の推移

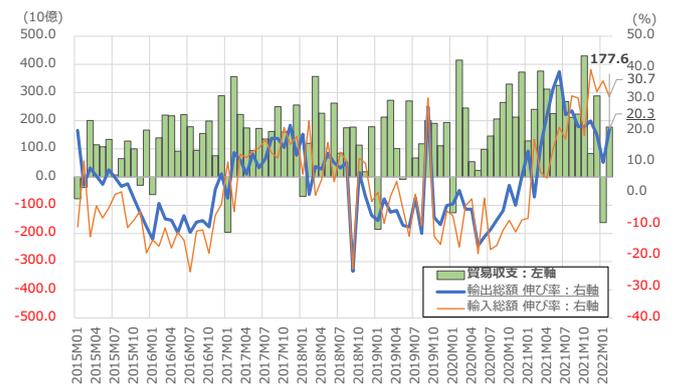


図5 関西 対中貿易の推移



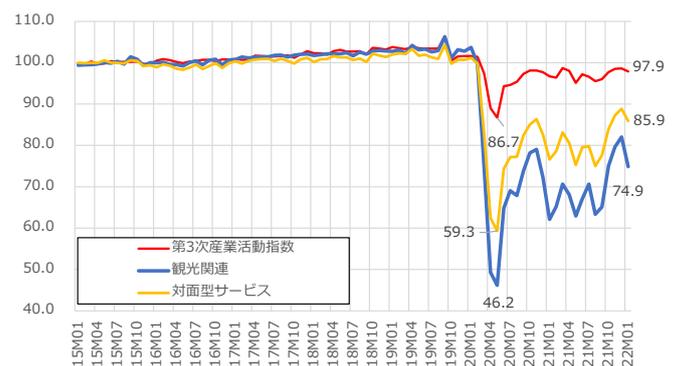
出所:「大阪税関貿易速報資料:近畿圏」より筆者作成

図6 関西国際空港 訪日外客入国者数推移



出所:出入国管理統計より筆者作成。2022年2月値は速報値

図7 観光関連 対面型サービス 第3次産業:2015年=100



出所:経済産業省「第3次産業活動指数」より筆者作成

トピックス 2

● 12月延べ宿泊者数の動向：関西2府8県

▶観光庁によれば、12月の関西2府8県の延べ宿泊者数(全体)は7,694.7千人泊であった(図8)。コロナ禍の影響がない2019年同月比は-21.6%と前月から減少幅(同-32.1%)は縮小(表1)。感染状況の落ち着きを背景に、10月から3カ月連続の縮小となった。

▶日本人延べ宿泊者数は7,647.4千人泊であった。2019年同月比+3.9%と前月の減少幅(同-8.8%)から改善し、プラスに転じた(表1及び図8)。府県別に延べ宿泊者数を降順にみれば、大阪府が2,700.2千人泊、京都府が1,734.3千人泊、兵庫県が1,101.0千人泊、三重県が588.2千人泊、和歌山県が422.7千人泊、滋賀県が275.9千人泊、福井県が261.7千人泊、鳥取県が237.0千人泊、徳島県が166.5千人泊、奈良県が159.9千人泊であった。5府県で2019年同月比がプラスに転じ、特に和歌山県(同+21.5%)では前月と比較して20%ポイント以上増加した。

▶外国人延べ宿泊者数は47.3千人泊と、2019年同月比-98.1%減少した(前月：同-97.9%)(表1及び図9)。府県別に延べ宿泊者数を降順にみれば、大阪府が29.2千人泊、京都府が10.5千人泊、兵庫県が2.9千人泊、奈良県が1.0千人泊、滋賀県が0.9千人泊、和歌山県が0.8千人泊、福井県が0.7千人泊、三重県が0.6千人泊、鳥取県が0.5千人泊、徳島県が0.4千人泊であった。

▶関西2府8県延べ宿泊者を居住地別で見ると(図10)、県内の延べ宿泊者数は2,201.1千人泊(2019年同月比+73.9%)、県外は5,232.6千人泊(同-34.4%)であった。自府県民を対象とした旅行補助事業の成果もあり、県内の延べ宿泊者の伸びは前月(同+38.0%)から約35%ポイント加速した。

▶2021年の関西の延べ宿泊者数は、5,762.1万人泊(前年比-6.1%)と2年連続の減少。日本人延べ宿泊者数は、5,705.7万人泊とわずかに増加(同+2.0%)に転じたが、外国人延べ宿泊者数は56.5万人泊と大きく減少した(同-89.6%)。感染状況やワクチンの普及、旅行需要喚起策により国内観光は幾分回復傾向を見せた。

図8 府県別日本人延べ宿泊者数 推移

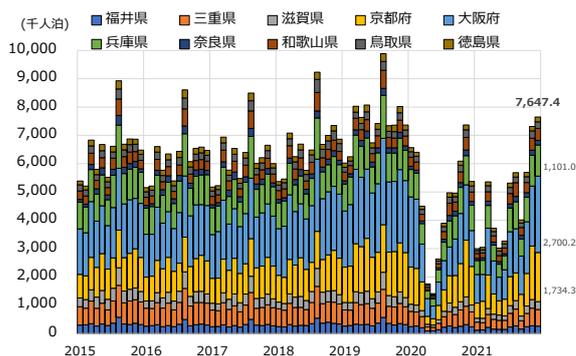


図9 府県別外国人延べ宿泊者数の推移

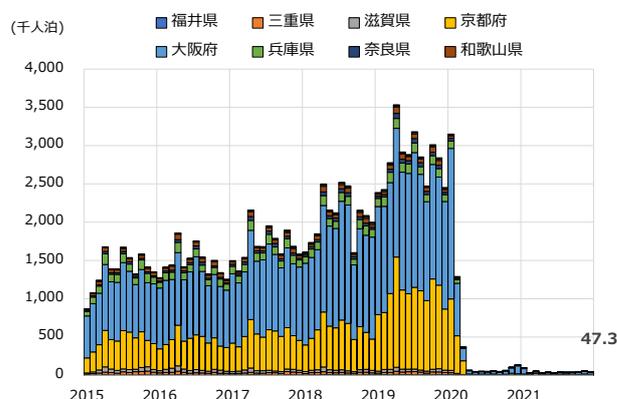
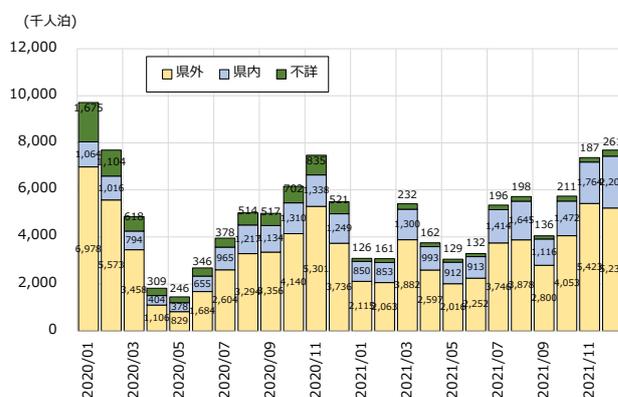


図10 関西 居住地別延べ宿泊者比率の推移



注) 県外の宿泊者には外国人宿泊者も含まれる。

表1 関西 延べ宿泊者数伸び率の推移

2021年12月	総数			日本人			外国人		
	延べ宿泊者数: (千人泊)	伸び率: 20年比(%)	伸び率: 19年比(%)	延べ宿泊者数: (千人泊)	伸び率: 20年比(%)	伸び率: 19年比(%)	延べ宿泊者数: (千人泊)	伸び率: 20年比(%)	伸び率: 19年比(%)
福井県	262.4	10.4	-19.1	261.7	10.4	-17.1	0.7	-5.4	-92.0
三重県	588.8	11.1	-10.1	588.2	11.5	-6.3	0.6	-76.9	-97.9
滋賀県	276.8	12.7	-22.6	275.9	13.0	-15.6	0.9	-37.3	-97.0
京都府	1,744.8	26.9	-26.9	1,734.3	27.5	9.1	10.5	-30.6	-98.7
大阪府	2,729.4	98.8	-30.9	2,700.2	112.7	6.1	29.2	-71.8	-97.9
兵庫県	1,103.8	23.1	-4.2	1,101.0	23.5	3.5	2.9	-50.4	-96.8
奈良県	160.9	18.2	-16.3	159.9	18.0	-1.2	1.0	63.3	-96.8
和歌山県	423.5	26.7	9.8	422.7	27.6	21.5	0.8	-75.1	-97.9
鳥取県	237.5	10.4	5.0	237.0	10.7	12.1	0.5	-54.5	-96.9
徳島県	166.8	3.3	-10.0	166.5	3.3	-4.9	0.4	0.0	-96.5
関西2府4県	6,439.2	47.6	-23.6	6,394.0	51.1	6.0	45.2	-65.1	-98.1
関西2府8県	7,694.7	39.8	-21.6	7,647.4	42.4	3.9	47.3	-64.7	-98.1
全国	39,002.1	29.8	-17.2	38,682.1	31.1	1.9	320.0	-41.8	-96.5

出所：観光庁「宿泊旅行統計調査」より筆者作成(図8~10及び表1)

表2 2022年2月 訪日外客数 (JNTO 推計値) (対2019年比)

国・地域	総数 Total			総数 Total		
	2019年	2022年	伸率(%)	2019年	2022年	伸率(%)
	2月	2月		1-2月	1-2月	
総数	2,604,322	16,700	-99.4	5,293,661	34,500	-99.3
総数(韓国・その他除く)	1,822,712	10,540	-99.4	3,661,015	22,080	-99.4
韓国	715,804	900	-99.9	1,495,187	2,200	-99.9
中国	723,617	2,400	-99.7	1,478,038	3,900	-99.7
台湾	399,829	600	-99.8	787,327	1,100	-99.9
香港	179,324	70	-100.0	333,616	140	-100.0
タイ	107,845	100	-99.9	200,494	500	-99.8
シンガポール	26,102	90	-99.7	48,778	160	-99.7
マレーシア	36,660	100	-99.7	68,059	300	-99.6
インドネシア	24,622	500	-98.0	57,099	1,000	-98.2
フィリピン	35,170	1,000	-97.2	71,157	2,000	-97.2
ベトナム	39,377	2,600	-93.4	74,752	3,000	-96.0
インド	9,071	1,700	-81.3	21,539	3,800	-82.4
豪州	47,658	100	-99.8	128,721	300	-99.8
米国	92,669	600	-99.4	195,860	2,400	-98.8
カナダ	23,883	100	-99.6	46,176	300	-99.4
メキシコ	2,889	20	-99.3	6,504	120	-98.2
英国	23,554	100	-99.6	45,108	600	-98.7
フランス	17,397	100	-99.4	32,717	800	-97.6
ドイツ	13,384	80	-99.4	24,742	380	-98.5
イタリア	5,897	50	-99.2	11,930	350	-97.1
ロシア	4,533	50	-98.9	8,915	350	-96.1
スペイン	5,601	100	-98.2	11,917	300	-97.5
中東地域	3,630	80	-97.8	7,566	280	-96.3
その他	65,806	5,260	-92.0	137,459	10,220	-92.6

表3 2021年12月 目的別訪日外客数 (JNTO 暫定値) (対2019年比)

国・地域	総数 Total			観光客 Tourism			商用客 Business			その他客 Others		
	2019年	2021年	伸率(%)	2019年	2021年	伸率(%)	2019年	2021年	伸率(%)	2019年	2021年	伸率(%)
	12月	12月		12月	12月		12月	12月		12月		
総数	2,526,387	12,084	-99.5	2,292,029	701	-100.0	124,260	1,063	-99.1	110,098	10,320	-90.6
韓国	247,959	1,064	-99.6	210,261	31	-100.0	22,621	132	-99.4	15,077	901	-94.0
中国	710,234	1,764	-99.8	645,786	88	-100.0	32,067	232	-99.3	32,381	1,444	-95.5
台湾	348,269	276	-99.9	332,446	13	-100.0	10,054	32	-99.7	5,769	231	-96.0
香港	249,642	73	-100.0	245,797	6	-100.0	2,847	18	-99.4	998	49	-95.1
タイ	164,936	173	-99.9	160,472	23	-100.0	2,496	12	-99.5	1,968	138	-93.0
シンガポール	100,376	51	-99.9	97,736	13	-100.0	2,300	4	-99.8	340	34	-90.0
マレーシア	78,250	58	-99.9	75,655	7	-100.0	1,807	3	-99.8	788	48	-93.9
インドネシア	59,203	262	-99.6	54,273	15	-100.0	1,989	5	-99.7	2,941	242	-91.8
フィリピン	81,542	238	-99.7	75,778	30	-100.0	2,083	6	-99.7	3,681	202	-94.5
ベトナム	30,606	331	-98.9	10,055	14	-99.9	2,766	13	-99.5	17,785	304	-98.3
インド	11,739	1,243	-89.4	5,264	16	-99.7	3,839	52	-98.6	2,636	1,175	-55.4
豪州	72,653	124	-99.8	68,892	21	-100.0	2,052	12	-99.4	1,709	91	-94.7
米国	144,498	956	-99.3	124,956	164	-99.9	14,447	74	-99.5	5,095	718	-85.9
カナダ	35,132	102	-99.7	32,839	17	-99.9	1,401	16	-98.9	892	69	-92.3
メキシコ	6,499	39	-99.4	6,138	4	-99.9	224	1	-99.6	137	34	-75.2
英国	27,750	182	-99.3	22,695	16	-99.9	3,397	12	-99.6	1,658	154	-90.7
フランス	20,261	204	-99.0	16,403	35	-99.8	2,473	24	-99.0	1,385	145	-89.5
ドイツ	13,639	97	-99.3	9,799	14	-99.9	2,954	12	-99.6	886	71	-92.0
イタリア	11,196	73	-99.3	9,662	20	-99.8	1,163	4	-99.7	371	49	-86.8
ロシア	8,833	83	-99.1	7,032	6	-99.9	1,259	10	-99.2	542	67	-87.6
スペイン	7,295	62	-99.2	6,509	7	-99.9	495	4	-99.2	291	51	-82.5
中東地域	5,554	85	-98.5	4,504	15	-99.7	747	6	-99.2	303	64	-78.9
その他	90,321	4,544	-99.9	69,077	126	-100.0	8,779	379	-100.0	12,465	4,039	-99.7

注) 目的別訪日外客数の定義については、図2注参照。
出所: 日本政府観光局(JNTO)、2022年3月16日付より筆者加工